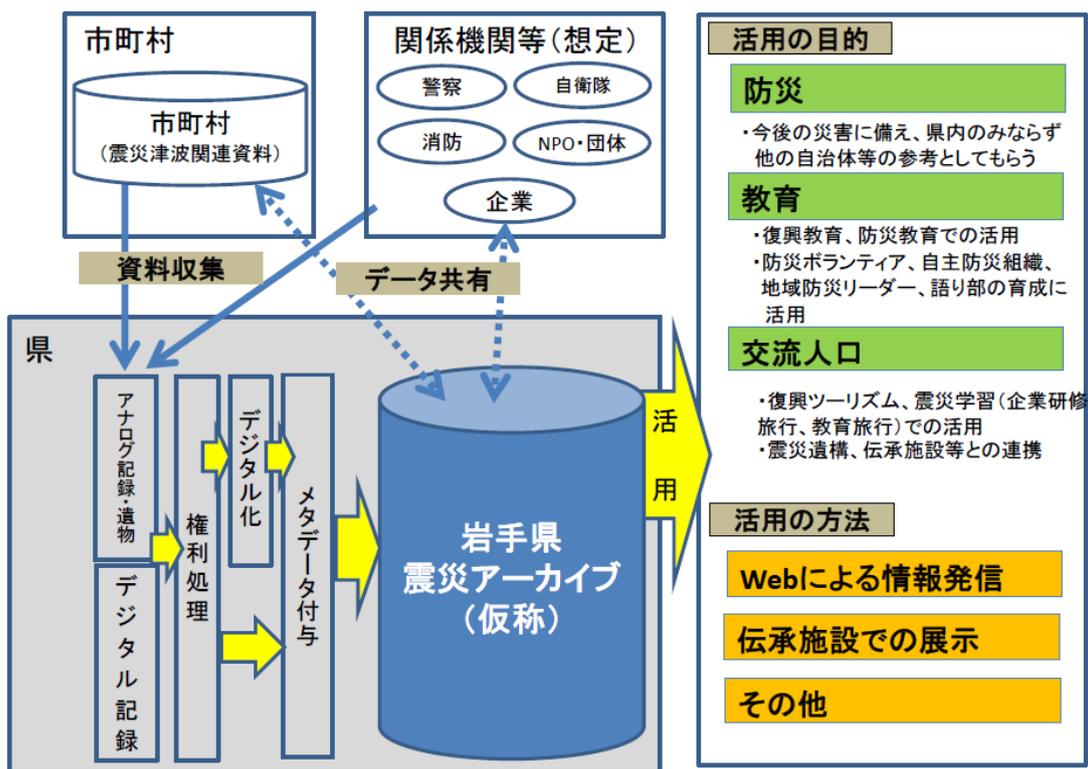


岩手県震災アーカイブシステム構築に係る有識者会議等の設置について

1 趣旨

- 東日本大震災津波からの復旧・復興の状況を後世に残すとともに、これらの出来事から得た教訓を活かすため、県では、昨年度策定した「震災津波関連資料の収集・活用等に係るガイドライン」に基づいて、今年度、県内における震災津波関連資料を収集するとともに、その活用を進めるため、新たに岩手県震災アーカイブシステム（仮称）を構築することとしているところ。
- システムの構築に当たっては、単に震災関連資料を羅列したものとはせず、今後の防災、教育、復興ツーリズム等を通じた交流人口の拡大にも役立つものとなるよう取組を進めていく必要があること。
- このことから、システムの構築にあたり、その訴求ポイントやコンテンツの構成、システムの名称について議論を行うため、有識者会議並びに県及び市町村の実務担当者で構成するワーキンググループを設置することとした。

【事業イメージ】



2 有識者会議の概要

(1) 設置イメージ



(2) 有識者会議委員

次の6人の方により構成すること。

区分	氏名（所属）
防災教育	南正昭（岩手大学地域防災研究センター長）
	森本晋也（岩手大学大学院教育学研究科准教授）
交流人口	草野悟（三陸DMOセンター総括コーディネーター）
WEBデザイン	工藤昌代（(株)ホップス代表取締役社長）
被災地・被災者	齋藤賢治（(一社)大船渡津波伝承館館長）
アーカイブシステム	柴山明寛（東北大学准教授）

(3) ワーキンググループ

県及び市町村の実務担当者により構成。

【参加機関】

県復興推進課、県総合防災室、県観光課、県教育委員会事務局学校教育室、沿岸市町村